



第 1 7 0 号



山崎城 想像図  
元会員 山本喜三郎氏 画

発行日 令和 4 年 5 月 10 日  
発行元大山崎ふるさとガイドの会(OFG)  
発行責任者 森脇 剛  
連絡先 大山崎町歴史資料館内  
TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289  
URL <https://www007.upp.so-net.ne.jp/ofg/>

\*\*\*\*\*

新会長に就任して

会長 森脇 剛



令和 4 年度、会長の大役を仰せつかりました。先輩諸氏の築かれた素晴らしい御功績を思うと、身の引き締まる思いです。

皆様のご指導、ご鞭撻を頂き精いっぱい尽力いたす所存でございますのでよろしくお願いいたします。

事業計画にも書きましたが、会員の高齢化と人員減少が進み、現在会員数 43 名となっています。これは OFG 設立当時（平成 8 年頃）の会員数に近いものであり、往古のご先輩達はこの位置から旗揚げされ輝かしい発展と業績を残されています。新会長として今何を為すべきかと考えたとき、「第 10 回ふるさと案内人養成講座」の受講生を多く募り、会への加入促進をはかることではないでしょうか。養成講座は OFG 発展の源泉であり、元気な新会員を迎えることが OFG の復

活につながるものと確信しています。

昨年より引き継いでいる養成講座実行委員会の皆様方の努力により、大山崎町との共催による養成講座は、5 月 19 日が開講式となっています。また、受講生募集にも奔走していただいておりますがいまだ未受講現会員を入れても 20 名程度です。会員の皆様にも、いま一度受講生募集にご協力をお願いいたします。ぜひご近所の方々に、お友達にお声掛けをお願いいたします。

新型コロナウイルスも未だ収まる気配はなく、第 7 波到来も新聞では取り沙汰されています。2 年間もガイド活動・学習活動の停滞を余儀なくされており、またベテラン会員の退会も相継ぎ、その活動の経験・技術の伝承を中堅・若手会員に如何にスムーズに伝えることができるかが課題だと考えます。感染対策を万全にして、ガイド活動・学習活動に精力的に取り組むかたわら、経験・技術の伝承という課題克服にも取り組んで行きたいと思っております。

3 月～4 月の活動実績	活 動 予 定
<p>1. 主なガイド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3 月 1 日 (火) リビングツアー (株) アローズ (中止)</li> <li>3 月 26 日 (土) 水辺の散策 (荒天予想のため中止)</li> <li>4 月 15 日 (金) シニア大学校 そら組 (雨天中止)</li> <li>4 月 19 日 (火) リビングツアー (株) アローズ 8 名</li> <li>4 月 23 日 (土) 定点ガイド (旗立松、山荘美術館庭園) 開始</li> </ul> <p>2. 会の行事など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3 月 15 日 (火) 乙訓 2 市 1 町ボランティアガイド交流会 (中止)</li> <li>3 月 21 日 (月) 他 水辺の散策事前現地学習会</li> <li>3 月 28 日 (月) あちこち学習山歩 56 (大原野神社方面) 16 名</li> <li>4 月 14 日 (木) 令和 4 年度定期総会</li> <li>4 月 18 日 (月) あちこち学習山歩 57 (勝竜寺城方面) 18 名</li> </ul>	<p>1. 主なガイド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5 月 29 日 (日) まで 定点ガイド (旗立松、山荘美術館庭園)</li> <li>5 月 25 日 (水) 天王山シニア倶楽部 出前ガイド</li> </ul> <p>2. 行事予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5 月 19 日 (木) 第 10 回ふるさと案内人養成講座 開講</li> <li>5 月 23 日 (月) あちこち学習山歩 59 (天王山陶板画)</li> <li>5 月 30 日 (月) 天王山ウォーキング事前現地学習会</li> <li>6 月 4 日 (土) 天下分け目の天王山ウォーキング</li> </ul> <p>*あちこち学習山歩 58 (しまなみ海道) は中止</p>

3～4 月 ガイド実績

	一般ガイド	歴史資料館	旗立松 (定点)	山荘庭園 (定点)	合 計
4 月	1 件 8 人	30 件 54 人	48 件 205 人	19 件 34 人	98 件 301 人
令和 4 年度累計	1 件 8 人	30 件 54 人	48 件 205 人	19 件 34 人	98 件 301 人

## 私の趣味と関心は

～わたし こんなん しています～

私が大山崎ふるさとガイドとして活動する際、山崎の歴史に関しては相当な興味と関心を持って取り組んでいます。他に何か特別な興味を持ったことがあるかと言われれば無趣味と言うか関心が薄いのか特にないが、一時凝っていたのが将棋です。将棋さえ指していれば満足という時があった。駒の持つ美しさ、攻めと守りのバランス感覚が自分を魅了していたのだと思う。実力はさほどの域には達しなかった。だが駒の持ち方、指のしなり具合は相当の域に達していたように思う。道場にもよく顔をだした。

将棋の世界では中学生で四段になるのは至難のわざである。藤井聡太君は勝負の世界で生き抜くのは素晴らしい才能と努力が必要になる。今や一強の時代といわれている。将棋とガイドはあまり共通点はない。何事もプロの境地はすごい。極めがたいと思う。3手先がなかなか読めない。人の世も複雑で1手先で失敗することもある。慎重かつ大胆な取捨選択を迫られる。

(3班 蜷木 茂徳 記)

## 私は無芸、何もしていません。

身体のためと思って散歩をしています。しかしこの頃速く歩くことが出来ずノロノロとしか歩けません。野鳥が好きなのでノロノロ歩きながらどんな鳥がいるかなとキョロキョロしながら歩いています。3月14日イワツバメが水無瀬川で十数羽飛んでいるのを今年初めて見ました。3月19日にはツバメが数羽飛んでいるのを今年初めて見ました。3月25日河川敷で冬いつもいるツグミが1羽もいなかった。北へ帰ってしまったのかな。

珍しい野鳥がいないかなと安物のカメラを持って出かけるのですが、この頃なかなか見ることがありません。去年小泉川でクイナ、小畑川でカワアイサのつがい、バンを見たのが最後です。これからも鳥を見ながらゆっくり散歩したいと思います。

クイナ

カワアイサ (めす)

カワアイサ (おす)



(4班 西木 豊 記)

## 天王山山頂井戸の改修

天王山山頂の井戸は、平成26年に当時の上田英俊会長が、ゴミ捨て場となっていた井戸を観光資源として活用するために、大山崎竹林ボランティアの協力を要請し、竹林ボランティアが主体で作業が進み青竹で囲いと天蓋をして整備しました。

その後、7年を経過して竹も腐って見苦しい状態になってきました。現在はコロナ禍で同行ガイドは少ないが、コロナ禍が収束してガイド申込が増えたときのことを考えて、山頂井戸の整備について会員に相談したところ整備しようということになりました。

作業するには、竹材の確保と結束の材料、作業用具の準備、作業者の協力を得ることが必要なため、竹材の確保については役場を通じて井戸の近くの藪の所有者の許可を得ました。作業用具と作業指導は大山崎竹林ボランティアの協力を得ることができたので、2月1日・8日・22日に竹を伐採、26日に整備する計画をたてました。

会員に協力要請をしたところ、竹林ボランティアを含め予定していた人員より多い1日12名・8日16名が参加して竹材の確保ができました。

15日に予定されていた別の行事が中止となったので、15日に整備作業をすることにしました。当日は15名の参加があり、囲いを取付ける作業と蓋を作成する作業に役割分担をして計画より早く安全に整備することができました。

整備作業に協力していただいた方に感謝するとともに、生まれ変わった山頂の井戸を今後のガイドへ活用していただくようお願いいたします。



左：改修前  
右：改修後

(4班 矢内章太 記)

## あちこち学習散歩⑤④ 天王山

天王山登山を楽しみにしていたので、いつでもリタイアを覚悟しながら挑戦です。酒解神社までは経験していたので「後、ちょっと」と言われ出発です。頂上について「これが城跡…？」狭い所でした。



一段下がった所に井戸跡だけ残っていました。その後サントリー山に行ってお弁当。出発の時リーダーの村田さんのリュックがパンパンで不思議でしたが、それは皆のために用意したコーヒーマグや抹茶オレ用の熱いお湯でした。又、和泉さんも手作りの白酒を、何という心がけのいい人達なのかと感心しました。帰り道には三桎の木が見所でした。村田さん、澤田さん、和泉さんの3人のお人柄が会をどんなに楽しい所にされているか、三桎の木のごとしと帰って俳句にしました。

(1班 奥野 稔 記)

## 竹の里・乙訓ボランティアガイド交流会

乙訓2市1町にある4団体のボランティアガイド交流会に出席しました。1回目は、各ガイド団体の活動報告。GWで自己紹介や課題・情報を共有しました。2回目は、雪が舞う中、現地散策ツアー体験として、西山・大原野エリア(大原野神社・勝持寺・願徳寺・正法寺)を訪れました。

案内人は、ガイドツアーを企画・実施されている「らくたび」の若村亮氏。参加者にイヤホンマイクが配布され、全員にガイド説明が聴きとれるよう配慮。坂道では途中で足を止め、後者への気配り。時には、クイズや駄洒落で笑いを引き出し、場を和ませられました。流暢な口調で的確に説明され、心地好い語り思わず聴き入ってしまいました。

底冷えする半日でしたが、国宝の如意輪観音をはじめ、数々の仏さまを拝ませいただき、心温まる思いでした。また、美しい風景をも堪能することができ、学び多い体験でした。

(全4回の交流日程ですがコロナ禍で後半は延期!)

(2班 森 圭子 記)

## 会員動向

令和3年度末をもって、1班 生島 薫さん、田中早苗さん、山本富枝さん、2班 佐藤泰敏さん、山本喜三郎さん、3班 木村弘子さん、藤原敬一さん、田口 准さん、4班 市川 孟さん、森 稔さんが退会されました。長期間にわたるご貢献に感謝いたします。

又、4月から3班 北畑由美さん、4班 野村輝行さんが入会されました。ご活躍を期待しています。